

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

## 天童高原地区

平成29年12月

山形県天童市

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 年 月 日

計画の名称	天童高原地区都市再生整備計画													
計画の期間	平成24年度～平成28年度 (5年間)					交付対象	天童市							
計画の目標	天童高原の豊かな自然環境を保全しつつ、資源や特色を生かしながら、積極的に交流・連携を図り、新たな魅力に満ちた市民の憩いの場、健康づくりの場、そして教育の場として整備し、賑わいのあるまちづくりを行う。													
計画の成果目標 (定量的指標)	1 天童高原の夏シーズンの交流人口の拡大を表す指標として、減少傾向にあるキャンプ場周辺利用者数の改善を見込む (-18.6%→0%) 2 天童高原の冬シーズンの交流人口の拡大を表す指標として、減少傾向にあるスキー場利用者数の改善を見込む (-10.9%→0%) 3 天童高原の魅力の向上、利用者の充実感に繋がる指標として、天童市民の天童高原に対する満足度の向上を見込む (56.3%→60.7%)													
定量的指標の定義及び算定式	1 計画期間 (H24～H28) におけるキャンプ場周辺利用者を把握し減少率を算定する。 (算定式) H18～H22を基準年度、H24～H28を目標年度とし、それぞれ5年間での減少率を算定する。 [現況値 = H22 / H18][目標値 = H28 / H24]													
						定量的指標の現況値及び目標値			備考					
						当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)						
						-18.6%	-	0.0%						
						-10.9%	-	0.0%						
						56.3%	-	60.7%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	500	百万円	A	467	百万円	B	0	百万円	C	33	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	6.6%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成29年度
庁内における事後評価検討委員会において、数値目標の達成状況と事業効果の発言状況の検証を行った。また、有識者による事業効果の分析を行うことにより、今後の目標と課題を整理した。	公表の方法
	ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生	一般	天童市	直接	天童市	天童高原地区都市再生整備計画事業	公園、地域交流センター等 232ha	天童市						467	
合計												467			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-B-1														0	
合計												0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
1-B-1															
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	天童市	直接	天童市	圧雪車整備	圧雪車の購入	天童市						33	
合計												33			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
1-C-1	冬季の市民交流施設における安全性の確保														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>キャンプ場とスキー場の利用者数を合計した年間の利用者数を見ると、従前値（H18-H22）では-13.8%と減少傾向にあったが、評価値（H24-H28）では7.6%と増加傾向に転じている。指標②では気象条件の影響もあり、スキー場の利用者だけでは増加とはならなかったが、年間を通した合計の利用者数は確実に増えており、整備の効果が表れていると言える。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標① (キャンプ場利用者数)	最終目標値	0.0%	目標値と実績値に差が出た要因	<p>キャンプ場の整備により周辺利用者数が大幅に増えて、目標の達成となった。整備前は年々利用者数が減少していたが、天童高原を整備したことによりキャンプ場としての魅力が増え、利用者増加につながったものと考えられる。</p> <p>評価値初年度（平成24年度）の利用者が多かったため、目標値のハードルが高いものとなってしまったことに加え、気象条件の影響を受けたこともあり、利用者数が伸びず、目標値の達成とはならなかった。一方で、事業期間の年間平均利用者数は増加しており、一定の整備効果が表れていると言える。</p> <p>天童高原の整備に伴い、天童高原を訪れたいと思う市民が増え、指標目標の達成となった。市民にとって以前より魅力を感じるような天童高原になったことで、目標の達成につながったと考えられる。アンケート実施時期以降の整備箇所もあり、全ての整備が完了すれば満足度はさらに上昇するものと思われる。</p>
		最終実績値	83.7%		
	指標② (スキー場利用者数)	最終目標値	0.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	-12.6%		
	指標③ (満足度調査)	最終目標値	60.7%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	61.2%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		その他指標①：天童高原イベント入れ込み客数		平成28年度の集計結果では、イベント入れ込み客数は平成24年度から4,098人増え、12,198人となっている。	
		その他指標②：キャンプ場・スキー場利用者の減少率		平成18年度から平成22年のキャンプ場・スキー場利用者の減少率は-13.8%で、平成24年度から平成28年度のキャンプ場・スキー場利用者の減少率は7.6%であった。	
3. 特記事項（今後の方針等）					

(参考図面)

計画の名称	天童高原地区社会資本総合整備計画		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	山形県天童市



□ 提案事業  
事業活用調査  
・事業効果分析

■ 基幹事業  
公園  
・休憩施設整備 50㎡

■ 基幹事業  
高次都市施設  
(地域交流センター)  
・整備 A=1,000㎡



■ 関連事業  
・天童高原環境整備事業

■ 関連事業  
・どうぶつふれあい広場整備

■ 基幹事業  
道路  
・連絡道路整備 L=約1,000m  
(待避所整備2箇所)

■ 基幹事業  
地域生活基盤施設  
・ビューポイント案内板 3箇所

■ 関連事業  
・散策路整備

■ 提案事業  
地域創造支援事業  
休憩施設整備

■ 基幹事業  
公園  
・自然体験施設整備  
・遊びの広場整備

